

『黒姫高原産トマト産地の再構築』

< 減農薬・糖度保証で安全・安心なトマト生産 >



【産地名： 信濃町（長野県）】

産地データ（H16年）

対象品目名	トマト
産地の名称	黒姫高原
作付面積	2.2ha
主要作付品種	桃太郎
作付農家数	46戸
出荷(販売)量	106t / 年間
販売額	27百万円 / 年間
出荷(販売)先	関東（量販店） 中京（市場） 県内（生協）

* 出荷量・販売額は9月末現在

1. 産地の概要と特徴及び課題

信濃町は、長野県の北端に位置し北に妙高山を背にして、西に黒姫山、南に飯綱山・戸隠山、東に斑尾山と北信五岳に囲まれた冷涼な高原盆地帯です。

農業は、稲作の単作経営が主体でしたが、近年は昼夜の気温差を活かしたトマト・スイートコーンなどの野菜生産が増加し、水稻と野菜のバランスのとれた複合経営が中心です。

トマトの生産については、昭和40年代から加工用トマトからシフトする形で生産が拡大しましたが、価格低迷等から生産農家及び栽培面積が減少しました。

しかし、近年は品質の良さが県外スーパー等に高く評価され、平成12年から契約取引を開始し、以降農業所得が安定したことから、生産者・栽培面積とも一時期の2倍以上に増加し、現在も定年帰農者を中心に増加している状況です。

このような状況の中で、実需者からの要望に早急に対応し、売り場の確保を図るとともに、所得の向上及び生産者の確保により、安定した産地の再構築が必要です。

対象品目の作型（生育ステージ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
作業	○	○	◇	◇	△	△	□	×	×	□		
	播種		仮植		定植		収穫	(最盛期)				

2. 産地改革計画の概要

策定対象品目名	トマト	該 当 市町村名	信濃町
策定年月	平成14年10月		
策定主体	ながの農業協同組合		

(1) 計画の全体概要(要旨)

- ・実需者ニーズ(安全・数量・規格・パッキング等)に対応できる産地づくり
- ・品質(糖度)保証による高付加価値化により、価格競争力の強化と販路拡大を図る
- ・環境に配慮した安心・安全なトマト生産の拡大

(2) 具体的な目標

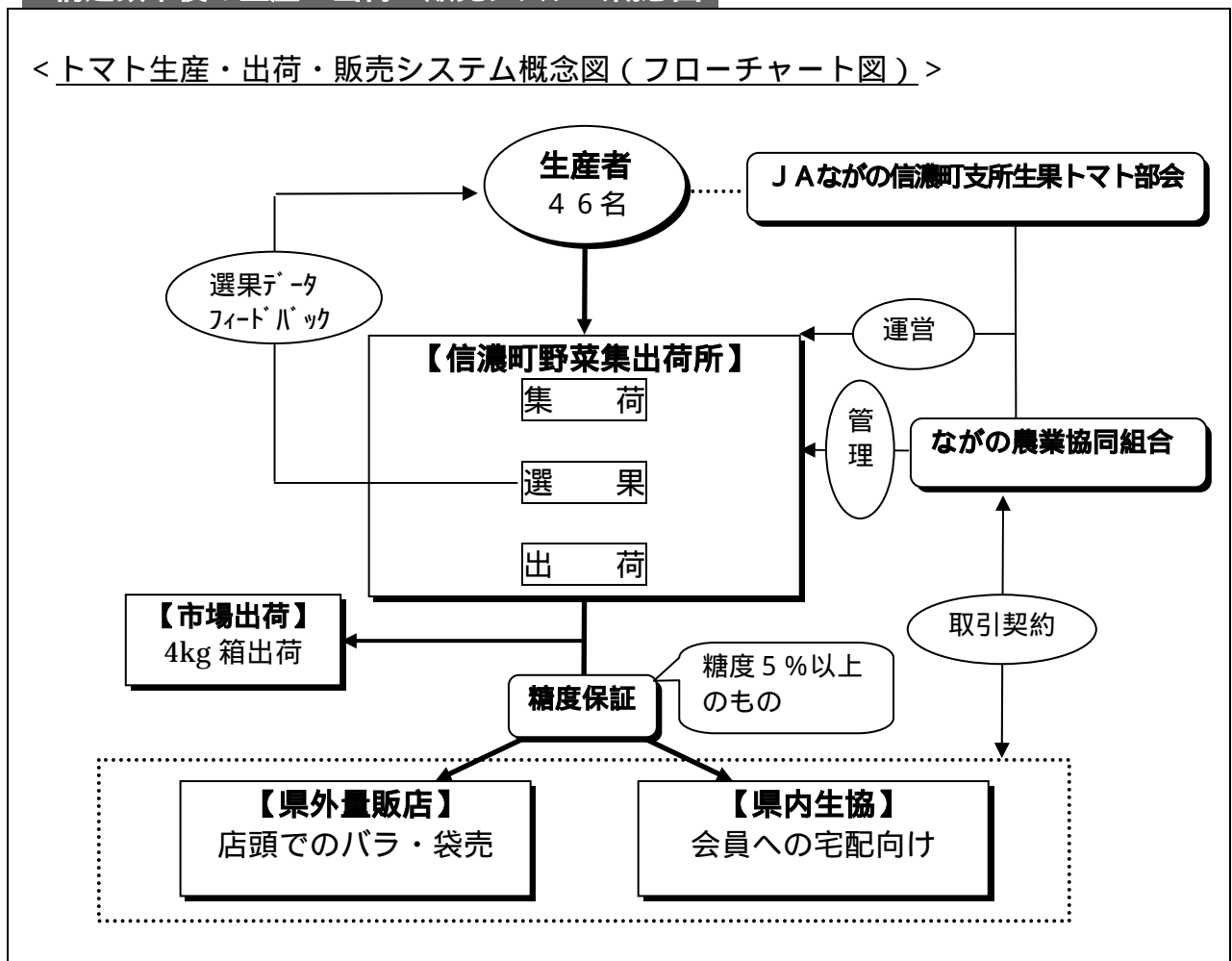
高付加価値化タイプ

長野県環境にやさしい表示認証取得による、減農薬・減化学肥料栽培面積の拡大
現状 1.8ha 目標 3.0ha
内部品質センサー(糖度センサー)による品質保証
現状 0%(0t) 目標 70%(126t)

3. 産地改革計画の実行状況とその成果

「長野県環境にやさしい表示認証制度」を引き続き取得し、栽培面積は、本年度県単事業等により2.2haに拡大し、着実に面積の拡大が進んでいる。
生産量は、高温少雨という厳しい気象条件下ありながら、前年並みの106tを確保し、実需者へ安定的に供給することができた。
本年度糖度センサー選果機を導入し、試験的に全量の58% 61tを糖度保証(糖度5%以上)で出荷するとともに、実需者からの新たなアイテムづくりの要望に即応することができ、実需者からの信頼も高く、今後も安定した販売が見込まれる。

構造改革後の生産・出荷・販売システム概念図



産地改革に係る補助事業等の実施状況（平成14年以降）

国庫補助事業

年度	事業名	事業主体名	事業内容	事業費	国庫補助金
15～	輸入急増農産物対応特別対策事業	ながの農業協同組合	産地改革推進協議会の開催 先進事例調査 栽培講習会 実需者・生産者意向調査の実施	(百万円) 0.8	(百万円) 0.4
16	輸入急増農産物対応特別対策事業	ながの農業協同組合	糖度センサー選果機 1条一式 日最大処理量 4.0t 利用面積(目標) 3.0ha 処理量(目標) 180t	(百万円) 2.3	(百万円) 1.1

関連事業（取組等）

年度	事業名	事業主体名	事業(取組)内容	事業費	うち補助金
16	園芸産地育成事業 (県単)	J A ながの 信濃町支所 生果トマト 部会	トマト雨よけ施設整備 (意向調査の結果に基づき規模 拡大を支援) 6戸 0.24ha	(百万円) 1.1	(百万円) 3

4. 今後の課題とその取組方向

【課題】

- ・新たな販路拡大による農家所得の安定確保
- ・取引先への安定供給が可能な生産数量の確保
- ・栽培技術の高度化と品質のレベルアップ

【課題への対策及び取組み等】

- ・県内外の量販店を中心に契約取引について商品サンプルの提供や取引交渉等の実施
- ・J A・行政・生産者が連携し、Iターン・Uターン・定年帰農者等を中心にトマト生産者を確保するとともに栽培技術等の指導・支援等の実施。
- ・本年度の選果データの活用した栽培指導により、産地全体のレベルアップを図る。

【特記事項】

産地改革・取組フォト

トマト生産状況



5 a 未満の小規模農家が主体。雨よけ施設も簡易雨よけ施設（通称：あまっこ）による栽培でコストの削減を図っている。



取引先での研修を実施し、担当者との意見交換を通じ、消費者ニーズ・販売状況の把握等に努めている。

選果機

平成16年7月に導入。糖度保証が可能となり、実需者からの要望に対応した商品アイテムづくりが可能になった。目標年間処理量は180t



出荷品（荷造り後）

箱での荷姿（環境にやさしい認証表示）



バラ売り用はコンテナ詰め
コンテナは実需者側で用意



< 県 問い合わせ

長野県 長野地方事務所 農政課
園芸特産係 矢島 崇広
▷ 住 所：長野県長野市南長野南県町 686 - 1
▷ TEL：026 - 234 - 9515（直通）

< 農協・問い合わせ先

ながの農業協同組合 北部営農センター
信濃町支所 中沢 益保
▷ 住 所：上水内郡信濃町柏原 2566 - 15
▷ TEL：026 - 255 - 6510